

## 平成31年度当初予算知事審査における主要な議論（危機管理防災部）

### ■ SNS 災害情報サポーター確保・育成事業（B3）

知 事 「SNS 災害情報サポーター」について2万人を目標としているとのことだが、どのような人を対象とし、どう研修していくのか。

担当部局 防災知識のある消防団員、自主防災組織のリーダーなどをサポーターの対象として考えている。

研修については、各対象団体の既存の会合の場などを利用して、適切な情報発信方法等についての研修を行ってまいりたい。

知 事 対象者の中には、普段 twitter などの SNS を利用していない人もいると思うがどうか。

担当部局 twitter での情報発信は非常に簡単であり、やり方を教われれば誰でもできるものである。

知 事 発信された情報の集約や分析はどのように行うのか。情報が多くなると、分析に人手も必要になるのではないか。

担当部局 国立研究開発法人情報通信研究機構で開発中の AI を活用したシステムで分析を行う。このシステムを活用すれば、地図上に災害事象ごとに時系列で分かりやすく整理される。先日の図上訓練においてシステムの実証試験を行ったが、このシステムを活用して僅か2名で分析を行うことができた。

知 事 既にこのシステムを導入している都道府県はあるのか。

担当部局 他県も本県と同様にまだ試験段階である。本県では、本格導入の前にまずはシステムを効果的に活用できるよう、サポーターを確保し研修を行ってまいりたい。

# 平成31年度予算見積調書

課室名：消防防災課  
 担当名：災害対策担当  
 内線：8181

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B3	SNS災害情報サポーター確保・育成事業			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	防災体制整備費	
事業期間	平成31年度～平成32年度	根拠法令	なし	宣言項目分野施策		03	大地震など危機への備えの強化 020516 危機管理・防災体制の強化		
1 事業概要	災害発生時の被害情報の収集強化を図るため、SNS災害情報サポーターを確保するとともに育成する。 (1) 情報発信サポーター確保 3,533千円 (2) 情報発信サポーター育成 243千円 (3) SNS災害情報活用・発信検討会 687千円			5 事業説明 (1) 事業説明 災害応急対応や被災者支援を迅速に行うには、災害情報の迅速な把握が不可欠である。SNSは、不特定多数のユーザーが、見聞きした情報をその場で発信できるため、特に発災初期の情報収集において非常に有効である。一方で、SNS情報には災害時におけるデマ情報いわゆる災害デマも混在しており、これをいかに排除できるかが課題となっている。このため、信頼性の高いSNS災害情報を発信してもらう災害情報ネットワークづくりを進め、情報発信サポーターとして人材の確保、育成を行うものである。 (2) 事業計画 ア 情報発信サポーター確保のために要する経費 3,533千円 いつ、どこで、どんな被害状況となっているのか、的確にSNSで災害情報が発信できるよう説明パンフレットを作成するとともに、操作研修を行う。 ・パンフレット 22,000部作成 ・説明、操作研修会 91回 イ 情報発信サポーター育成のために要する経費 243千円 情報発信サポーターのSNS情報発信の熟度を高めるため情報発信訓練を実施する。 ・情報発信訓練 3回 ウ SNS災害情報活用・発信検討会に要する経費 687千円 災害対応におけるSNSの活用方策、県民等への情報発信方法を検討するため、有識者、市町村等をメンバーとする検討会を実施する。 ・SNS災害情報活用検討会 3回 (3) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 サポーターとして、消防団員、自主防災組織リーダー等の人材と連携を図る。					
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.4人=3,800千円								
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	4,463							4,463	4,463
前年額	0							0	